



2020 Oct.



DATA:

- 名称：葛（クズ）
- 学名：*Pueraria lobata*
- 分類：マメ科クズ属
- 薬品：葛根湯など、幅広く使用
- 主成分：フラボノイド、サポニン他
- 効能：血流改善、筋緊張改善など
- 用途：葛根湯、葛粉、葛湯、菓子類など

写真は、熊本大学薬学部薬草園データベースより引用

葛は優秀植物



落語の枕で「葛根湯医者」というのがありますが…

「お前さん、今日はどうしたんだい？」
 「先生、あっしは、どうにも頭が痛いんですがね」
 「そりゃあ、いけませんな。葛根湯をおあがり」
 「お次の方は？」
 「ええ、私は、腹が痛いんで。」
 「おや、大変だ。葛根湯をおあがり。その次の人？」
 「いえいえ、あっしは付添いで来てるだけでして。」
 「そりゃ退屈でしょう。葛根湯でもおあがり」

この話の設定は、ヤブ医者が何でもかんでも葛根湯を出す場面ですが、実は、これ、そんなに变じやない。

葛根湯の原料になっている葛の根は応用範囲が広い。例えば「葛粉」を湯に溶いた「葛湯」ですが、風邪の予防などの目的で元気な人でも飲みますね。さらに民間療法として「風邪」「胃腸不具合」「肩こり」などにも使ってます。そんなわけで、適応範囲が広い葛根湯では、上の落語の枕のような話も「全くナシ」ではない。

さらに言えば、葛粉にはデンプン=栄養もあるので、昔は災害時の「救荒食糧」でもあったようです。

秋の七草でもありますし。葛は、優秀ですね。

問題点を挙げれば、世界の地表の3万km²は葛で覆われている（九州の面積くらい）らしく、海外では「グリーンモンスター」とか「グリーンデザート（緑の砂漠）=葛しか生えてない」と呼ばれ、恐れられてますね。

さて、葛根湯のコロナ感染症に関する使用は、以前のDIニュースにも書きましたが、葛根湯はウイルス感染による諸症状に対し、昔からよく使われています。

近年は女性のダイエット記事でも「葛湯」を見ることがあります。要点は食前の葛湯で空腹感が和らぎ、食べ過ぎの抑制、薬効で体が温まるし、便秘改善…なんて。

まあ、これは、葛根湯医者の現代版みたいな話だな。

CONTENT

Page2

2020.9 No. 292

DRUG SAFETY UPDATE
医薬品安全対策情報

・中耳炎に適応を持つ抗菌剤全部

連携充実加算について

質の高い外来がん化学療法の評価

(新) 連携充実加算 150点(月1回)

- 患者にレジメン(治療内容)を提供し、患者の状態を踏まえた必要な指導を行うとともに、地域の薬局薬剤師を対象とした研修会の実施等の連携体制を整備している場合の評価を新設。

重要 速やかに改訂添付文書を作成します

抗生剤全般(中耳炎適応を持つもの) 内服、注射

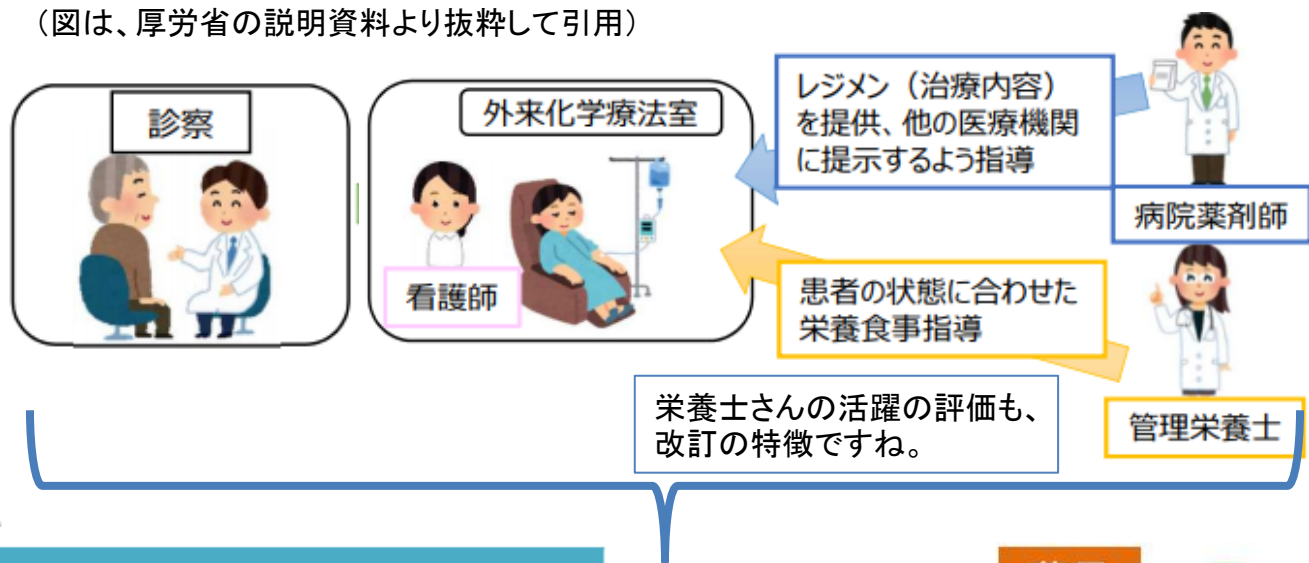
131 眼科用剤
132 耳鼻科用剤

改訂箇所	改訂内容
[効能・効果に関連する使用上の注意]	<p>中耳炎への使用にあたっては、「抗微生物薬適正使用の手引き」を参照し、抗菌薬投与の必要性を判断した上で、本剤の投与が適切と判断される場合に投与すること。</p> <p>(適応症によっては、記述内容が若干異なるが、大意は同じ)</p> <p>(耳鼻科ネブライザー関連の記述は下記のような文章)</p> <p>中耳炎、副鼻腔炎(ただし、ネブライザーを用いた噴霧吸入においては中鼻道閉塞が高度の症例を除く)への使用にあたっては、「抗微生物薬適正使用の手引き」を参照し、抗菌薬投与の必要性を判断した上で、本剤の投与が適切と判断される場合に投与すること。</p>

連携充実加算について

本年度の診療報酬改定で、外来化学療法に対し、連携充実加算が新設されました。当院は、施設基準を満たし、算定することができました。6月の時点で算定している県内施設は7施設のみで、JCHO全体でも7施設。なかなか取得しにくいようです。内容は以下の通りで、外来化学療法の質的向上や医療安全確保を目指すもので、既に当院では、調剤薬局からも、かかりつけ患者の状況に関するトレーシングレポートも届くようになりました。

(図は、厚労省の説明資料より抜粋して引用)



質の高い外来がん化学療法の評価

(新) 連携充実加算 150点(月1回)

- 患者にレジメン(治療内容)を提供し、患者の状態を踏まえた必要な指導を行うとともに、地域の薬局薬剤師を対象とした研修会の実施等の連携体制を整備している場合の評価を新設。



何かの機会に、院内で本件の詳細を紹介したいと思います。